

社会科学学習指導案

授業者 境 建人

1. 日 時 令和2年11月4日(水) 第2時限(9:35～10:20)

2. 学年・組 第6学年西組(34名) 於:201教室

3. 単元名 「明治の国づくりを進めた人々」

4. 単元目標

- ・黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化などを手掛かりに、わが国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ、近代化を進めたことを理解することができる。 【知識・技能】
- ・世の中の様子、人物の働き、社会生活などに着目して、わが国の歴史上の主な事象を捉え、わが国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現することができる。 【思考力・判断力・表現力】
- ・明治の国づくりを進めた人々について、学習問題を意欲的に追究し、獲得した知識を歴史的人物や当時の人々の立場や社会生活と結び付け、仲間との対話を通じて多角的に捉えようとしている。 【学びに向かう人間性】

5. 指導にあたって

(教材観)

本教材は、七百年間続いた武士による政治が終わりを迎え、近代国家になっていく我が国の転換期を扱う。幕末から明治の初期にかけての歴史的事象を調べることを通して、我が国が諸改革を行い、欧米の文化を取り入れ、近代化を進めていったことを理解することをねらいとしている。大きな時代変化の背景には、そこで活躍した人々の思いや願いがあり、我が国が大きく発展するために様々な改革が行われたことを実感できる教材である。

(児童観)

本学級の児童は、歴史的事象の知識が豊富な児童が多い。また、学習課題に対して意欲的に資料や教科書から情報を読み取り、自分の考えを整理することができている。しかし、知識が豊富な分、自分の持っている知識を披露する発表が多く見られた。そのため、これまでの学習では、歴史的事象を比較して考えを深めたり、歴史的人物や当時の人々の立場について考えて自分事としたり、歴史的事象が及ぼした影響について考えたりする学習活動に取り組んできた。現在では、仲間の意見と自分の意見を比較して、歴史的事象を多角的に思考することができるようになってきている。

(指導観)

江戸時代までの学習は、扱う人物が少なく、時代背景と人物の業績が一致するので、人物を中心とした学習が容易であると考えられる。しかし、明治以降の学習では、社会の変化が激しいため、取り扱う歴史的事象が多い。そのため、一人一人の人物の生涯を追いながら学習を進めることは難しい。そこで、授業ではタブレット端末アプリ（ロイロノート）を活用し、画像や動画、資料などで当時の様子を捉えさせ、児童の学習意欲を高める。また、個人で調べる時間を設け、当時の欧米諸国は、アジア進出を進めたことや黒船の来航後に欧米の文化が取り入れられたこと、明治政府が廃藩置県や四民平等などの改革を行ったことについて理解させた後、「日本は近代国家に肩を並べたか」という問いを設ける。調べたことや不平等条約（修好通商条約）などの資料を根拠に全体での討論を行い、自分と仲間の意見を比較する場面を設定する。また、「自分が主権者ならどのようにして日本を近代国家にするか検討する」ことによって歴史的事象を自分事とする活動を行う。授業で獲得した知識を歴史的人物や当時の人々の立場や社会生活と結び付け、仲間との対話を通じて多角的に捉える、主体的で対話的な深い学びを育成していきたい。

6. 指導計画（全11時間）

第1次 明治の国づくりを進めた人々・・・・・・・・・・6時間（本時6／6）

第2次 明治維新で最も活躍した人物について考えよう・・・・・・・・・・3時間

第3次 開国の判断について考えよう・・・・・・・・・・2時間

7. 本時の目標

- ・明治時代の国づくりに着目して、当時の日本の立場や各種資料の情報を根拠に、「日本は、近代国家に肩を並べたか」について討論することで、日本が解決すべき問題や解決方法について考えることができる。
- 【思考力・判断力・表現力】

8. 本時の展開

学習過程	児童の学習活動・学習内容	指導上の留意点	評価の観点
導入	1 明治時代の国づくりについて前時までの授業を想起する。	・ 明治時代の国づくりを想起することで、児童が後の討論において根拠をもって話しやすいようにする。	
展開	2 「日本は、近代国家に肩を並べたか」について考え、討論する。 3 資料を読み取る。 4 自分が主権者なら「どのようにして日本を近代国家にするか」について検討する。	・ 自分の立場を明確にすることで、児童が討論をしやすくなるようにする。 ・ 不平等条約についての資料を読み取ることで、児童が討論において根拠をもって話しやすいようにする。 ・ 児童が自分事として考えられるようにする。 ・ 日本が解決すべき問題や解決方法について着目できるようにする。	・ 歴史的事象の見方・考え方を働かせ、自分の考えを表現することができる。
まとめ	5 今日の学習をふり返って、ノートに感想を書く。	・ 書き出しを指定することで児童が具体的な振り返りを書くことができるようにする。	・ 歴史的事象の見方・考え方を働かせ、自分の考えを表現することができる。